



Fulcrum Osteopathy Study Group 主催セミナー

# ムーブメント・オブ・ライフとバイオダイナミック・フォース

--オステオパスは如何にして生命に働きかけるのか--

講師：Philippe Druelle DO, DscO

“オステオパシーは患者の最も奥深いニーズに応える技法によるものであり、  
だからこそ有効なのである” --- *Viola M. Frymann, D.O., F.A.A.O., F.C.A.*

2016年11月、Philippe Druelle(フィリップ・ドゥリュエル) DO, DscO を日本に招待し、バイオダイナミック・フォース、ブレス・オブ・ライフ (生命の息吹)、効果的な患者の診断・治療法についての特別セミナーを行います。本セミナーでは、スティール博士 (Andrew Taylor Still, M.D., D.O.)、サザーランド博士 (William Garner Sutherland, D.O.)、ウィーバー博士 (Charlotte Weaver, D.O.)、ロリン&アラン・ベッカー博士 (Rollin E Becker D.O. & Alan R. Becker D.O.)、フライマン博士 (Viola M. Frymann, D.O., F.A.A.O., F.C.A.) といった先達が残してくれた当該テーマに関する知識を伝授し、さらに、フィリップ・ドゥリュエル DO, DscO による乳幼児、大人、高齢者のための新しい研究開発も紹介して頂きます。

「生命に働きかける」ということを理解することで、オステオパシーのテクニックを患者一人ひとりの個性と本質に適した治療手段として使えるようになります。セミナーはバイオダイナミック・フォースやブレス・オブ・ライフの触診、患者の治療への応用を中心に展開されます。

## ＊序論

伝統的オステオパシーにおけるブレス・オブ・ライフとバイオダイナミック・フォースの成り立ちについて。他の古い流儀との比較。先達たちはこれらの力やエネルギーの存在にどのようにして気づき、どのようにそれを利用し始めたのか。

## ＊本セミナーの目的

本セミナーは、受講者に優れたツールとテクニックを伝授し、日々の実践でのバイオダイナミック・フォースとブレス・オブ・ライフの活用により治療の効果を向上させることを目的とする。いたるところに存在するこの自然の力を解放することにより、痛みを伴う慢性化した複雑な症例に対する、より優れた臨床方法を手にすることができる。

### 【第一部】

ブレス・オブ・ライフの定義、目に見えてわかるブレス・オブ・ライフの表れと目には見えないブレス・オブ・ライフの表れ。バイオダイナミック・フォース、ポテンシー（潜在的な生命力）の定義。生体のプロセスにおけるその作用。身体的、精神的、感情的、霊的なレベルでバイオダイナミック・フォースとポテンシーが果たす役割は何か？人生の意味や生命といった観点ではどのような影響力があるのか？

道教、アーユルヴェーダ、チベット医学などの他文明との比較。さらに、ギリシアのヒポクラテスによる発見、エピダウロスの僧侶、シャーマン、17世紀のパラケルススとの比較も行い、これらすべての情報源の共通点を探る。患者を奥深くから治療する特有のメソッドとは何か？

これらのエネルギーが生体のなかでどのように作用するのかを、オステオパシーの概念に沿ってバイオメカニクス、バイオダイナミクス、バイオエネルギーといった観点で説明する。

サザーランド博士とスクーリー博士（Thomas Schooley, D.O.）による第一次呼吸メカニズムとブレス・オブ・ライフの相互関係および様々な生命体のリズムについての解説。ステイル博士による生命の火花（スパークル オブ ライフ）、ロバート・フルフォード博士（Robert C. Fulford, D.O.）によるライフ・フィールド（生命場）およびその作用と活用について。

ロリン・ベッカー博士とウェールズ博士（Anne L. Wales D.O.）による「スティルポイントとスティルネス」の違い。

ロングタイトの定義とその作用の引き起こし方。応用のルール。

これらの様々な力やエネルギーの触診およびその活用。実践的導入および症例について。  
ロリン・ベッカー博士による「オートマティック シフティング サスペンディッド フルクラム (Automatic shifting suspended fulcrum)」の概念  
スティールポイントとスティールネスの感じ取り方、触診についての上級者向けコース。

患者の本質と向き合いながらバランス感覚の取れたポジティブな意志で治療にあたることの大切さ。触診と実践演習。

## 【第二部】

第一部で学んだ概念や触診を実務の様々な局面で実践的に用いる方法を紹介。新陳代謝に影響を与える電磁場、バイオダイナミクス、流体や液体のダイナミクス、生体のバイオメカニズムのレベルで説明。ここで学ぶ新しい知識を活用して身体のいくつかの重要な部位を診断・治療することができる。

1. 腹部の器官・臓器の機能的相乗作用。第二の脳。脳の健康と関係のある第二の脳のダイナミクスを再び活性化するための最新の科学的発見に基づく方法。細胞栄養、免疫防御機能、腹部の炎症の改善に適用。
2. 脳と心臓と電磁場の相互関係。ブレス・オブ・ライフと交流するための感度を上げる作業におけるその重要性について。物理的・感情的原因によって引き起こされた病変部にブレス・オブ・ライフを再び棲みつかせる。
3. バイオダイナミック・フォースと筋膜の機能ユニット。液体のレベル。感情的レベルでの重要性について。
4. 後頭蓋窩および C0 C1 C2 におけるバイオダイナミック・フォースの適用
5. フルフォード博士によるライフフィールド（生命場）を活用した作業

## 【第三部】

上級向けコース

ライフ・フィールドによって体内の病変部を突き止める方法。「停泊(アンカー)」という概念。

患者の改善をすべて妨げるタイプの病変。

セントラルチェーン内でブレス・オブ・ライフまたは普遍的エネルギーの作用を引き起こす方法。この作業は、機能の増強とシステムの保護に役立つ。（チャクラとの比較）

オステオパスである我々が患者のための優れた効果的な道具となるための自己啓発方法。  
5つの鍵。

治癒のプロセスにおける進化のダイナミクスの重要性。我々の本質が治癒をもたらす。

#### \*まとめ

全概念と患者への応用の要約。普遍的エネルギーをより効果的に利用するためのアドバイス。オステオパシーの知識が人類に示す希望。

## 講師紹介

フィリップ・ドゥリュエル DO, DScO は、その優れた業績により世界的に認められたオステオパスであり、その知識を伝授するための来日は FOSG 主催でのセミナーでは今回が三回目となります。

世界に数多くの伝統的なオステオパシー大学を創設し学生の指導にあたる他、セミナー講師として複数の大陸にまたがって精力的に活動されています。オステオパシーの概念を初めて頭蓋内に応用し、脳の機能を再び活性化させる数多くのテクニックを開発してこられました。小児科学や産科学の分野でも多大な貢献を果たし、脳震盪の後遺症の緩和にも寄与されてきました。20 年間におよぶ研究の結果もセミナーのなかで共有して下さいます。また、学生および施術者向けのオステオパシー専門書 28 冊を執筆されています。



フィリップ・ドゥリュエル D.O. が 35 年の経験に基づく知識を伝授する本セミナーへの参加を心よりお待ちしております。

## F.O.S.G.代表挨拶

Fulcrum Osteopathy Study Group で Philippe Druelle, D.O. をお招きするのは今回で3回目となります。Philippe Druelle, D.O. はオステオパシーの伝統を受け継ぐ数少ないドクターの内の一人で、カナダやドイツ、ロシア、スイス、ペルーにある9校のオステオパシー大学の創設者でもあります。

私が Philippe Druelle, D.O.の講義を初めて受けたのが約12年程前です。私が彼に強く心惹かれるのは技術はもちろんの事、人(患者)、生命とコンタクトする姿勢、生命に対する洞察の深さであり、また生命にコンタクトする事の重要性を情熱を持って後進に伝えていく姿勢なのだと思います。

人は単なる有機物ではなく、そこには生命があり人生を通しての痛みや葛藤の全ての履歴が含まれています。生命は画一的なものではなく、一人一人がそれぞれの人生を生きる異なった存在です。患者を尊重し、その生命にコンタクトし、その人の人生においてその生命が十分に表現できるように手助けをすること、私自身の目指しているオステオパシーがまさにそれであると感銘を受けた事を今でもよく覚えています。

その後も恩師や Philippe Druelle, D.O.をはじめ様々なドクターに学んだことを手掛かりにしながら自ら探究を進めてきましたが、やはり10年以上が経過してもなお、Philippe Druelle, D.O.の人や生命、オステオパシーに対する姿勢に共鳴し続けています。

テクニックはあくまでもツールであり、オステオパシーの哲学や原理、人体の知識と統合することで応用し発展させて行く事ができます。

それらはとても重要な事ですが、さらに大切なのはその非常に重要なツールを生きている人間に適応させていく事だと思います。生きている構造体には生命の発現があり外界と相互関係を築きながらそれぞれ固有の表現をしています。術者である「人間」が相手の「人間」にコンタクトを行いオステオパシーを提供する事が非常に大切であると考えており、ぜひ皆様とも共有したいと考え、今回のテーマで開催して頂く事になりました。

Philippe Druelle D.O.はオステオパシーの小児科や婦人科、中枢神経系、感情が人に及ぼす研究についても国際的に著名な先生ですが、毎回素晴らしい理論と方法論を提供して頂いています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Fulcrum Osteopathy Study Group 代表 西山 正洋

\*開催日：平成28年 11月17日(木) 9:30~17:30 (受付9:00~)  
11月18日(金) 9:00~17:00  
11月19日(土) 9:00~17:00  
11月20日(日) 9:00~17:00

\*セミナー内容をより深く理解し習得する事を目的としまして、11/19(土)18:00~20:30に、希望者のみでFOSG代表の西山によるフォローアップセミナーを実施する予定です。

フォローアップセミナーの参加費は無料です。尚、フォローアップセミナーの開始および終了時間は本セミナーの終了時刻により多少前後する可能性があります。

\*参加資格：「Fulcrumの概念I」セミナーを修了した方

\*場所：TSURUYA ホール 8F 「スカイホール」

〒541-0053

大阪府大阪市中央区本町 3-3-5 TSURUYA ホール 8F

TEL: 06-6281-0111

大阪市営地下鉄 御堂筋線・中央線 本町駅下車 7番出口すぐ

地図：[http://www.tsuruyahall.com/detail\\_1st\\_sky.html](http://www.tsuruyahall.com/detail_1st_sky.html)

\*受講料金：168,000円 (消費税込)

\*締切：セミナー開催日の7日前までにお申し込みください。  
ただし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

\*申込み方法：申込み用紙にご記入の上、FAXにて送付して下さい。  
申込書が届きましたら、必ずこちらからお電話またはメールにて連絡させていただきます。お申込みいただいてから3日程経っても連絡がなければ、届いていない可能性がありますので、一度お問い合わせいただきますようお願いいたします。

＊お振込み：こちらから申込書受領のお電話をさせていただきました後、下記の口座に受講料金をお振込みいただきますよう、お願いいたします。  
お振込みいただきましたら、セミナー受講受付完了となります。  
当日会場にお越しいただきましたら、受付でお名前をお伝えください。

ゆうちょ銀行

口座記号番号：00980-6-172237

口座名義：フルクラム オステオパシー スタディグループ

【他銀行からの振込みの場合】

店名（店番）〇九九（ゼロキュウキュウ）店（099）

預金種目：当座

0172237

＊お振込の控えをもって領収書とさせていただきます。

＊キャンセル：少人数のセミナーであり、また2人1組となって実技を行いますので、出来る限りキャンセルのないよう、どうぞよろしくお願いいたします。  
セミナー開催日の7日前より、キャンセル料が発生いたします。  
キャンセル料金は下記の通りです。

7日前～前々日 セミナー料金の20%

前日 セミナー料金の50%

当日 セミナー料金の100%

＊注意事項：本セミナーは動画撮影及びデジタルカメラでの写真撮影は出来ませんのでご了承ください。尚、ご希望の方にはカメラマンと担当スタッフが撮影したデジタルカメラの写真を有料(3,000円)にてお渡し致します。  
またセミナーには実技が出来る薄手で動きやすい服装でお越しいただくか、ご持参頂きますようお願いいたします。



**F.O.S.G.**  
Fulcrum Osteopathy Study Group

〒530-0044

大阪府大阪市北区東天満 2-4-16 シャルムヒルズ南森町 1F

FAX：06-6948-5671 お問い合わせ：info@fulcrum-osteopathy.jp

\*月曜と金曜はお休みさせていただいております。